

大阪で「府民のつどい」

労働組合や歴史学研究
者らでつくる「建国記念

の日」反対大阪連絡協議

会は11日、「建国記念の

日」不承認 府民のつど

い」を大阪市内で開催ま

した。会場いっぱいのは

50人がかけつけ、熱心

に意見交換しました。

宮本憲一大阪市立大学

名誉教授が「都市格のあ

る街をつくろう―歴史に

学び大阪の再生を」と題

して講演。大阪はかつて

「住み心地よき都市」を

掲げる市長が日本の都市

政策をリードしていたと

指摘。ところがいま、橋

下・「維新の会」によっ

て、伝統ある大阪市を廃

止して解体し、文化政策

を廃し、大阪都に編成さ

れようとしていると批判

しました。

大阪市解体を止め、歴

史的な伝統に帰り、都市

格のある街を創造できる

かどうかは市民の目覚め

にかかっていると強調。

「独自の文化と経済を持

っていた大阪の都市格を

とり戻すために、力強い

市民運動の再生を」と期

待を表明しました。

会場からは、大阪市立

大学の男子学生が「大学

自身も大阪市民の手によ

ってつくられたもの。そ

れが今なくされようとし

ている。力を合わせて反

対運動をすすめていきたく

い」と発言しました。

乙女文楽の桐竹繭紗也

(まさや)さんが「三番

叟(さんばそう)」を演じ

ました。